

保護者の皆様

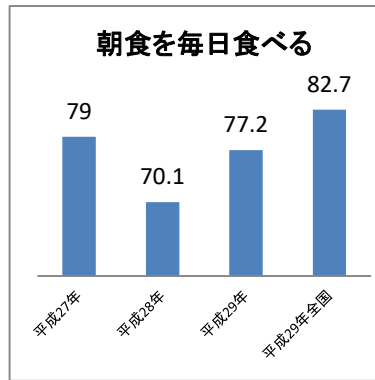
春木中学校長 神前 誠

平成27・28・29年度 全国学力学習状況調査生徒質問紙調査 本校3年生と全国平均の回答状況と考察（一部抜粋）

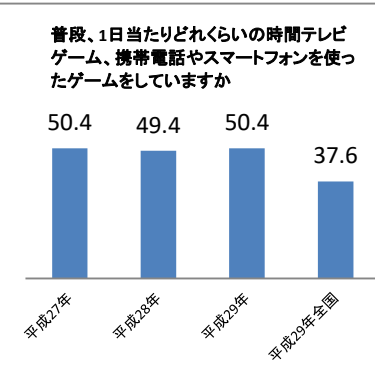
初秋の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、4月に行われました、平成29年度全国学力学習状況調査（3年生対象）の生徒質問紙調査結果（一部抜粋）をお知らせいたします。

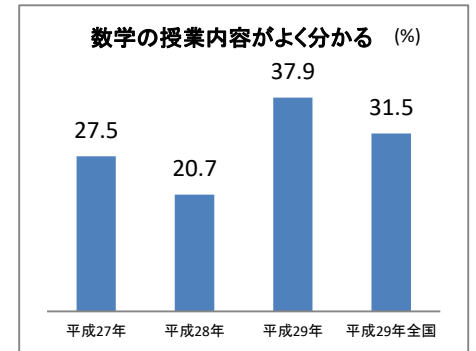
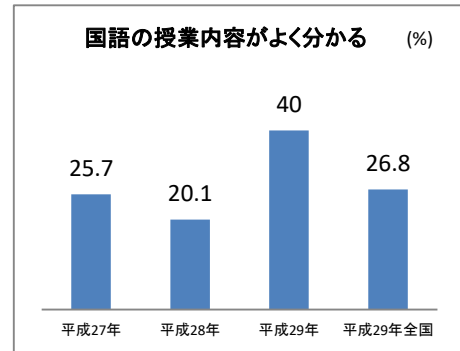
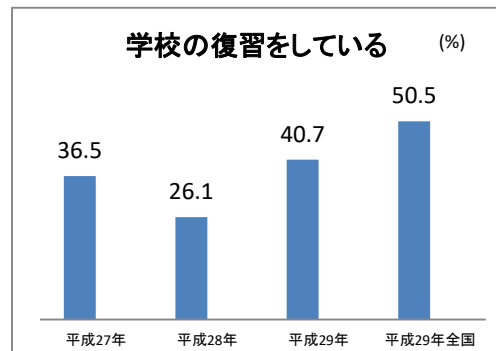
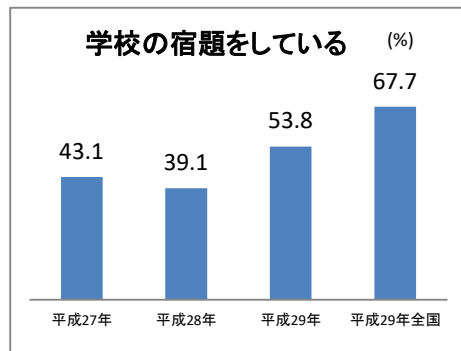
今後も、本校教育活動にご理解ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



「朝食を毎日食べる」と答えた割合です。全国平均と比較すると、数値が5.5%低くなっています。文部科学省の調査によると、**朝食を全く食べない生徒は、毎日食べる生徒に比べて、国語で平均15%、数学で平均20%正答率が低い**という調査結果が出ています。また、学力だけではなく、集中力、心の安定にも、朝食摂取が深く関わっていることがわかっています。

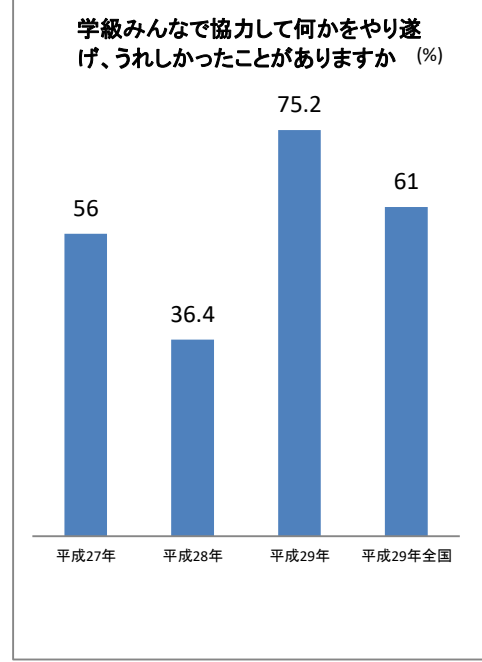
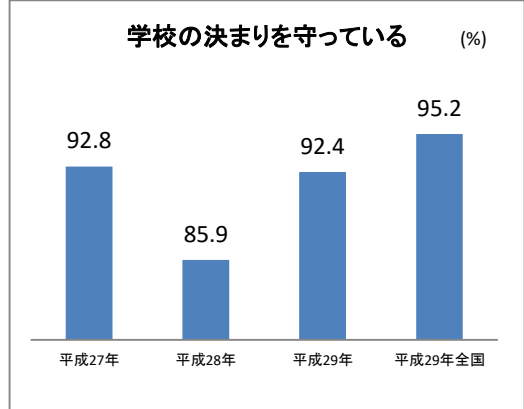
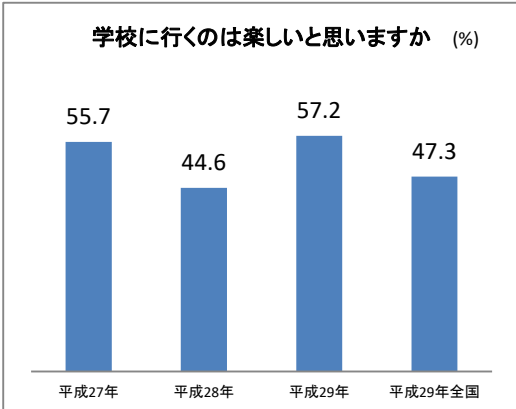


1日当たり2時間以上、テレビゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームをしている割合です。全国平均と比較して、12.8%高くなっています。**家できちんと勉強していても、スマートフォン等の使用時間が長ければ、家で勉強をしていない生徒よりも学力が下がるという研究結果**があります（仙台市教育委員会）。長時間使用のリスクをご理解いただき、各家庭で使用するルールを決めていただきたいと思います。



学校の復習や宿題をしている割合が、全国平均よりも低くなっています。人は何かを学んだ時、何もしなければ1日後には67%を忘れると言われています（エビングハウスの忘却曲線）。しかし、24時間以内に復習をすると、記憶率はほぼ100%に戻るそうです。テスト前に一気に復習するよりも、短時間でもよいので、その日習った内容をコツコツと復習の方が効率が良いです。中学校で取り組んでいる「**自学ノート**」を、ご家庭でも確認していただきたいと思います。

国語と数学の授業内容の理解は、「分かる」「どちらかといえば分かる」を合わせると、**概ね8割**になります。（国語→80.7%、数学→76.5%）授業での「**めあて**」の明示と「**振り返り**」、**班活動**を通した対話的で深い学び、校区幼少中での「**授業の7つのやくそく**」の共通実践など、全ての教科で「わかる授業」をめざします。



全国平均と比べても、非常に高い割合になっています。体育大会や文化祭、合唱コンクールなど、毎年、春木中学生らしい取り組みが見られます。今後も、さまざまな行事や活動を通して、**絆づくりや思い出づくり**を進めていきます。

「どちらかと言えばそう思う」も合わせると、86.9%です。調査項目の中で、最も大切な内容と捉えています。「居場所づくり・絆づくり」をキーワードに、「**安心して学べる学校**」「**満足感が得られる学校**」をめざします。

全国平均と比べると、やや低い数値になっています。**学級での安心感はルールの成立**によるところが大きいです。今後も、ご家庭の協力をいただきながら、ルールを守る大切さを指導していきます。

これからも検査結果の分析を通して、春木中学校の強みと弱みを把握し、学力向上はもとより安心して満足できる学校づくりを進めていきます。

ご家庭におかれましても、子どもたちがより良い学びに取り組めるよう、一層の声かけや環境づくりをお願いいたします。

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、協力して、学校教育目標である

「よい社会人を育成する」

を成し遂げていきましょう。